事例No.	656
公表年度	H29
団体の属性	一般市
団体名	宮城県石巻市

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・公共施設活用

事例種類	再編・ネットワーク化

事例内容・タイトル

東日本大震災に伴う石巻市立病院と石巻市立雄勝病院の再編（石巻市立病院・石巻市立雄勝病院）

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

病院：事例１

○ 事例名等

事例名	東日本大震災に伴う石巻市立病院と 石巻市立雄勝病院の再編
団体名（病院名）	宮城県石巻市（石巻市立病院、石巻市立雄勝病院）

《再編・ネットワーク化の類型及びその概要》

類型	市町村立病院間での再編・ネットワーク化（同一市町村）
概要	東日本大震災により被災した石巻市立病院（一般病床206床）と石巻市立雄勝病院（療養病床40床）の機能を統合する形で新たな石巻市立病院（一般病床140床、療養病床40床）を再建するとともに、石巻市雄勝診療所（無床）を新設。

○団体・事業の概要

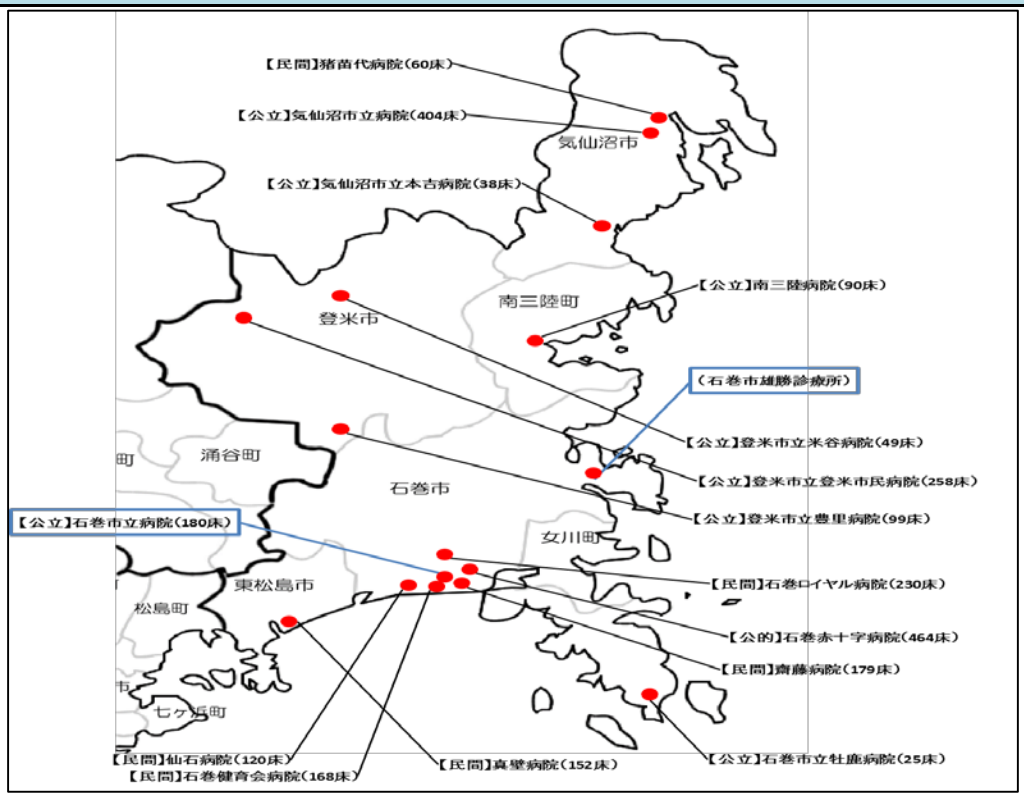
病院建物外観		地域において担っている役割	【石巻市立病院】急性期から回復期、慢性期及び在宅医療まで担い、石巻圏域における切れ目のない医療を提供する
団体名（病院名）	石巻市（石巻市立病院）		
行政区域内人口（人）	147,627	行政区域内面積（㎢）	554.58
事業開始年月日	平成28年9月1日	経営形態	公営企業法財務適用
許可病床数（病床種別）	180床（一般140、療養40）	稼働病床数（病床種別）	113床（一般108、療養5）
診療科数	6科目	特殊診療機能（※2）	訓
指定病院の状況（※3）	救、感、輪	看護配置	10対1
職員数(人)	184(事務職員21、医療従事者163)	経常収支比率（%）	95.8
医業収支比率（%）	37.8	病床利用率（許可病床）（%）	47.6

※1　上記表中の「行政区域内人口」は、平成29年1月1日時点。「行政区域内面積」は、平成28年10月1日時点。それ以外の計数は、H29年3月末時点。

※2　ド…人間ドック　透…人工透析　I…ICU・CCU　未…NICU・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン

※3　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院
災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

構想区域等の概要

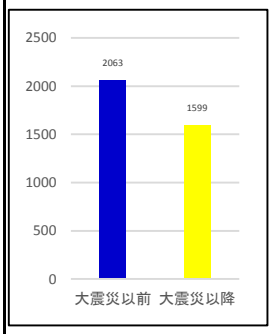


1．取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

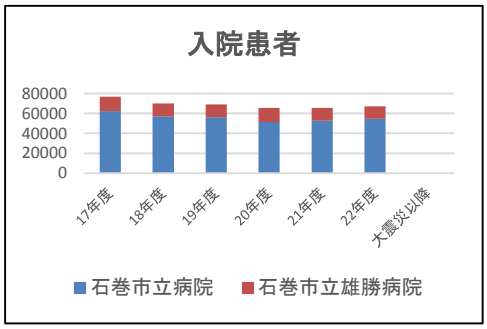
(1)取組の背景

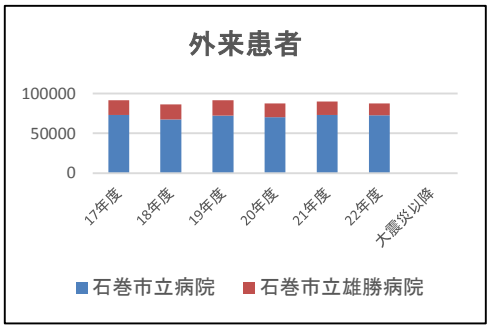
平成23年3月11日に発生した東日本大震災時の大津波により、石巻市立病院と石巻市立雄勝病院は医療機能が完全に停止し、建物・設備的な被害のみならず、人的にも被害を受けた。

【石巻医療圏の病床数】



【患者数推移】





(2)検討を開始した契機・導入過程

石巻市立病院及び石巻市立雄勝病院の医療機能が失われた結果、地域の急性期医療の崩壊、高次医療への連携寸断、療養病床の不足等により市民の健康に対する不安は大きく膨らみ、地域医療の疲弊した状況の解消は時間的猶予を待たないほどひっ迫した状況にあった。

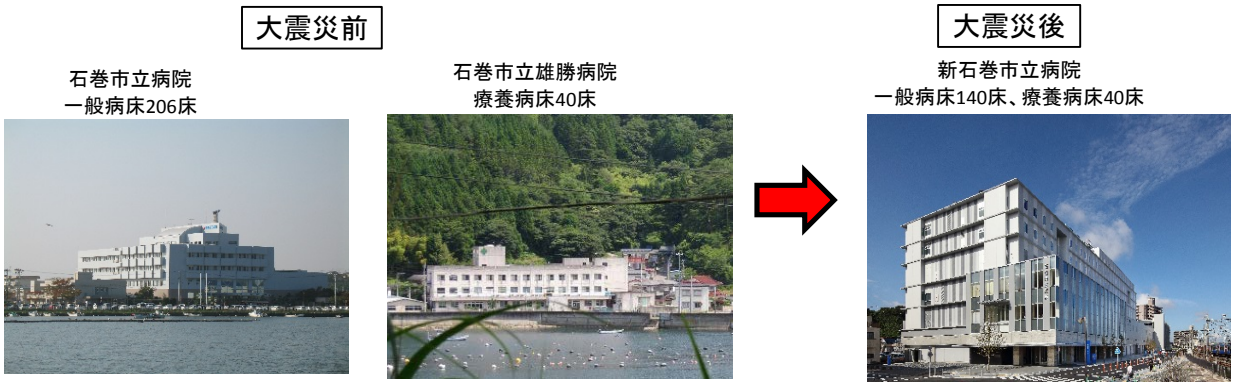
時期	取組内容
平成24年1月～3月	医師会、歯科医師会、薬剤師会の会長等で構成する「石巻市立病院建設検討委員会」を立ち上げ、「石巻市立病院復興基本計画」の策定等について審議
平成24年3月	石巻市立病院復興基本計画を策定
平成24年8月	石巻市として「被災公共施設再建(廃止)方針」を策定。石巻市立病院の移転新築、石巻市立雄勝病院の廃止、石巻市雄勝診療所の新設を決定。

(3)関係者との調整
①議会対応
新石巻市立病院の移転建設場所については議論があったものの、東日本大震災により石巻市立病院206床、石巻市立雄勝病院40床の入院機能が失われるなど、地域医療の疲弊した状況を一刻も早く解消しなければならなかったため、医療機能や整備方針については大方異論なく理解を得られていた。

②その他
新石巻市立病院の主要機能、整備方針等を盛り込んだ「石巻市立病院復興基本計画」の策定に当たっては、医師会等医療関係者のほか市民等により構成される「石巻市立病院建設検討委員会」で審議した。

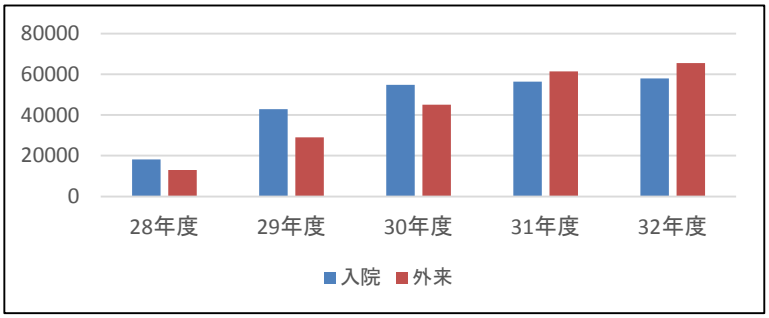
(4)人事・財務上の対応
①人事
石巻市立病院の医療職については解雇せず、被災直後にあっては避難所での業務に従事し、避難所解消後は他医療機関への派遣を経て、新病院で勤務している(本人意思による退職はあり)。
石巻市立雄勝病院の医療職については、石巻市健康部所管施設へ配置替え。
②財務
石巻市立病院及び石巻市立雄勝病院の企業債残債は、石巻市病院事業会計がそのまま引き継いでいる。

2. 取組の具体的内容とねらい、効果
(1)取組の具体的内容とねらい
疲弊した地域医療の早急な解消を図るとともに、急性期から慢性期に至るまでの医療機関の機能分化と医療機能の集約・連携等を推進し、その強化、効率化を図ることにより、地域全体の医療提供体制の再構築を目指した。



(2)効果
震災から5年6か月の月日を経て開院した石巻市立病院は、地域医療支援病院である石巻赤十字病院との機能分化を明確に位置付けるとともに、地域医療機関との連携強化を図ることにより、地域における切れ目のない医療提供体制を構築し、市民が安心して暮らせる地域社会の実現に貢献している。

【新石巻市立病院　患者数推移】



3. 再編・ネットワーク化に取り組む上での都道府県の関与や役割
震災後に設置された宮城県地域医療復興検討会議の「地域医療復興の方向性について」(平成23年9月)において、石巻市立病院は「石巻赤十字病院との機能連携を前提として、石巻医療圏における医療提供に際し、これまで市立病院が果たしてきた役割及び今後の街づくりビジョンとの整合性等を踏まえながら、再建に当たっての立地場所、規模、機能等を検討する。」ことが示された。
また、石巻医療圏全体では「医療圏全体の医療体制再構築に当たっては、圏域の医療ニーズや医療従事者確保の観点から、急性期医療の集約化、連携強化が必要不可欠」、さらに「石巻市立病院と石巻赤十字病院の機能分化・連携強化により、医療圏全体で切れ目のない医療提供体制を構築」することを目標としており、これを踏まえ「石巻市立病院復興基本計画」を策定した。

4. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点

東日本大震災という特殊な状況に伴う再編であったが、地域医療支援病院である石巻赤十字病院を核とした地域医療の機能分化、医療機関の連携に重点を置き、地域の医療需要を踏まえた機能・規模の病院再建を果たした。

(2)今後の課題等

石巻市では、震災前の石巻市立病院、石巻市立雄勝病院、石巻市立牡鹿病院の3病院体制から2病院体制となったが、高齢化、人口減少が急激に進展する牡鹿地区における石巻市立牡鹿病院のあり方が課題である。

〇問合せ先

担当課	石巻市立病院事務部病院総務課		
TEL	0225-25-5555	MAIL	cliishigen@city.ishinomaki.lg.jp